

913件で総合評価採用

標準型の35%で逆転現象

中部整備局
06年度状況

中部地方整備局は昨年度の総合評価方式の実施状況を明らかにした。実施件数は高度技術提案型、標準型、簡易型の3タイプ合計で913件。全入札案件に占める割合は7割となった。タイプ別の実施件数は高度技術提案型3件、標準型82件、簡易型828件。1番札以外の応札者が技術提案などの点数で逆転し、工

事も落札した案件は全部で85件。内訳は▽高度技術提案型10件▽標準型29件▽簡易型56件。標準型は実施件数の約35%で逆転現象が起った。

中部地方整備局は本年度、技術力評価を確実に実施し、公共工事の品質確保を図るため、総合評価方式の実施件数を拡大するとともに、実施内容

の評価方法の変更▽企業・技術者評価を工事成績などに特化▽指名停止処分などを受けた場合の対応の厳格化などが柱。

技術者ヒアリング評価は参加希望工事の内容に評価を特化し、技術的な内容の回答が不明瞭な場合

は減点する。指名停止処分などを受けた企業への対応は減点値を増やすとする。

もに、工事故などによる減点適用期間を明確化